



寺院名物シリーズ④ 鹿足組 妙壽寺

拙寺、妙壽寺は江戸末期の火災により本堂を消失し、およそ180年の永きにわたり、本堂と庫裏が同一の仮本堂にて法燈を継承してまいりました。

その間、幾多の困難を乗り越え、門信徒のお支えのもと、この度、この令和の年に新たな本堂をお迎えすることができました。南無阿弥陀仏（住職・村上 勝元）

編集 御同朋の社会をめざす運動  
山陰教区委員会

# 過疎の現実に向き合つて

寺院振興対策委員会  
過疎対応担当委員

月 洞 昇 道

自坊は浜田市三隅町の漁師町にあります。かつては漁に関わる人々の生活が地域を支えていましたが、島根県内の漁獲高の減少による漁港統合・再編以降、漁師だった門徒さんも姿を消し、地域の人口構成も大きく変化しました。それに伴い、寺と地域社会の関係性も、従来の形を維持することが難しくなっています。

先日、無住寺院や活動停止状態に近い寺院を視察する機会がありました。中には、寺院機能が失われただけではなく、存在そのものの痕跡がほとんど残っていない場所もありました。そこに至るまでの過程は、一つひとつの判断の先送りや、現実を直視しきれないまま時間が経過した結果であることを考えると、「手遅れになる前に対応する」という視点の重要性を感じます。

私自身の家庭について言えば、子どもたちはそれぞれ別の分野へ進み、今のところ寺を継ごうとはしていません。後継に道筋をつけられなかつたことは、父親、また住職として不徳の致すところであります。将

あることが求められています。  
過疎最先端の地で起きていることは、やがて他地域でも現実化する可能性があります。「まだ大丈夫」と考えていた間に、対応が困難な段階に入る場合もあります。取り返しのつかなくなる前に、声を上げる側にも、具体的な行動が必要です。その共通理解をこれからも共有していくないと考えています。

過疎が進行する地域では、「何とか現状維持を続ける」ことだけでは立ち行かなくなる段階が確実に訪れます。その前段階で相談し合える関係、必要な支援を具体化できる仕組みが不可欠です。寺院がそれぞれ孤立したまま対応するのではなく、現状を共有し、率直に課題を出し合い、現実的な選択肢を検討できる教区であることが求められています。

来的には他の寺院に支援を依頼しなければならなくなる可能性も現実的に考えてています。この問題は決して特異な事例ではなく、同様の状況にある寺院は少なくないと思われます。

総会では、令和6年度の事業報告・決算報告・監査報告、令和7年度の事業計画案・予算案について審議され、議決されました。会員の減少傾向が強まるなか、今後の活動の方向性や新しく会員になつていただくための方策などについても話し合われました。

研修会は、ビハーラ山陰副会長の朽畠宏樹師（益田組専光寺）に、「ビハーラとの出会いとその活動について」と題し、お話をいただきました。

ビハーラ活動としてがん患者との交流を始めたきっかけや、音楽をとおしての交流などについてお話をいただき、誰でも個人としてビハーラ活動はできること、決して難しいことではないことなど、参加者の皆さまにも身近に感じる

総会では、令和6年度の事業報告・決算報告・監査報告、令和7年度の事業計画案・予算案について審議され、議決されました。会員の減少傾向が強まるなか、今後の活動の方向性や新しく会員になつていただくための方策などについても話し合われました。

期日 7月8日 (火)  
会場 山陰教堂  
教化センター 研修室  
参加者 15名

ことができた時間となりました。  
また、参加者全員が話し合う時間を設け、日頃の活動やビハーラに対する思いを語っていただき、非常に有意義な研修会となりました。



- 注意いただきたい事項
- ・ 賞味期限が明記されており、1ヶ月以上あるもの（社協によっては3ヶ月以上）
- ・ 未開封で中身が出ていないもの
- ・ 常温保存が可能なもの

井筒オリジナル  
「白象模様」  
サイズ：20×17.2×0.3cm  
色：白地+ペーミントグリーン  
素材：セルロース & コットン



サステナブルノベルティ  
100% 天然素材  
  
超吸水 & 速乾  
片手でキュッとしほれる  
煮沸消毒・洗濯機 OK  
水切りマットにも  
  
ギフトにおすすめ！北欧生まれのエコふきん  
F7060 スポンジワイプ



〒 600-8468  
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）  
Tel 075-351-1234 Fax 075-341-7905  
㈹ 0120-075-720

オンラインショップはこちらから →

### 伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店  
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品



株式会社 古田た佛具製作所

〒600-8328 京都市下京区正面通西洞院東入ル蛭子水町609  
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836  
フリーダイヤル 0120-178-413  
フリーファックス 0120-343-036

## ビハーラ山陰総会・研修会

(2021年5月～2025年11月)  
フレーバンク活動報告

## 同朋社会研修会

大田東組 正藏坊 菅原 崇

7月9日（水）、同朋社会研修会を出雲市民会館会議室で開催し、85名の僧侶・門信徒の方々に参加いたしました。

今年が戦後80年にあたり、戦没者追悼法要も併せて勤まり、晨利信教務所長の調声で勤行、窪田英俊布教団副団長にご法話をしていただきました。研修会のテーマは、戦後80年といふこともあり「非戦・平和」がテーマ。ご講師は、絵本作家・詩人のアーサー・ビナード氏。「やばつ」この『平和』つて本物の平和？ 知らなかつた僕らの戦争」と題しお話をいたしました。

アーサー・ビナード氏は1967年アメリカ・ミシガン州で生まれ、子どもの頃、原爆は「戦争を終わらせるもの」として教育されました。大学卒業と同時に来日。5年後友人に誘われ、初めて広島を訪れ平和記念資料館で被爆者の体験を聞き、「ピカドン」という言葉を知つて見方が変わったとのこと。被爆者や遺構・遺品と向き合い、原爆を投下した側ではなく、被爆者目線で紙芝居や絵本を作り、講演されています。この

原爆投下で戦争が終わったという風に理解されていますが、実は、アメリカ側の辻褄合わせであり、第二次世界大戦がはじまるうとしている時、すでにアメリカは「マンハッタン計画」（原爆開発・製造計画）を進めており、核という凄い武器をもつて世界に君臨したかったのが実情であるのだと。広島に落とされたウラン型は既に開発されていたのですが、長崎に落とされたプルトニウム型は製造に時間がかかつたため、8月になつたそうです。それで戦争を終わらせないため、3月の「東京大空襲」では大打撃は与えず（8万人の方が犠牲にはなつている）、目的は、あくまで広島と長崎（当初の目標は北九州市小倉）の原爆投下であったそうです。戦時の戦意高揚のために作られた紙芝居も実演してもらいました。

アメリカ人のアーサーさんが原爆や戦争のことを掘り下げて見つめているのに、私たち日本人が知らない

ことがたくさんあり、メディアの方的な情報に頼らず、「無知は暴走する権力者だけが豊かになる社会でなく自分の目を、耳を大きく開けて、真実はどこにあるのか、自分で見極め行動に移すことが、未来の世代に對する責任ではないかと感じた研修会でした。



山陰教区では、御同朋の社会をめざす運動（実践運動）の取り組みの一環として、「エコキャップ収集運動」を実施しています。

「エコキャップ収集運動」はペットボトルのキャップをリサイクルメーカーに売却した代金で、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動です。教務所には12月までに、約490kgご協力いただきました。  
※お持ちいただくキャップは、必ず洗い、飲料や汚れを落としてください。  
※リサイクル対象はペットボトルのキャップのみです。

## エコキャップ収集運動にご協力ください

会 場 山陰教堂 教化センター  
研修室

参加者 26名

これまで、「若婦人聞法のつどい」として「初心者のための浄土真宗」を開催していました。年齢や経験に関わらず、多くの方に浄土真宗のみ教えをわかりやすく学んでいただくことを目的に、今年度から、「次世代育成研修会」として開催することといたしました。

このたびは、「敬いと声を形に表す」と題し、山陰教区勤式指導員の小原 静伍師にお話いただきました。家庭のお仏壇のお飾りや作法、お勤めの唱え方や意味について丁寧に説明いただきました。

「参加してはじめて知ることが多く、よかったです」「参加者同士でも教え合いながら

期 日 7月23日 (水)

これまでは、「若婦人聞法のつどい」として「初心者のための浄土真宗」を開催していました。年齢や経験に関わらず、多くの方に浄土真宗のみ教えをわかりやすく学んでいただくことを目的に、今年度から、「次世代育成研修会」として開催することといたしました。

これまで、「若婦人聞法のつどい」として「初心者のための浄土真宗」を開催していました。今後も、どなたでも気軽に参加いただける研修会を企画してまいりますので、どうぞご参加ください。



このたびは、「敬いと声を形に表す」と題し、山陰教区勤式指導員の小原 静伍師にお話いただきました。家庭のお仏壇のお飾りや作法、お勤めの唱え方や意味について丁寧に説明いただきました。

「参加してはじめて知ることが多く、よかったです」「参加者同士でも教え合いながら

「敬いと声を形に表す」と題し、山陰教区勤式指導員の小原 静伍師にお話いただきました。家庭のお仏壇のお飾りや作法、お勤めの唱え方や意味について丁寧に説明いただきました。

10年前中央教修を受け、「資格より自覚だ!」と激励をうけましたが、総体的には楽しい3泊4日を過ごしてまいりました。教修を受けるきっかけとなつたのは父が病気療養中のときでした。私の仕事が閑期の時に趣味のスケッチのため、近隣にドライブに連れて行つていました。ある時に、「今日は天気もよろしいですが何處へいきましょうか?」と問うたところ、父は「そうよのう? そろそろお淨土へでも行つてみるか」との答え。私は「お淨土といつてもそういう簡単には行けません、ましてや日帰りではむりでしよう。それに私は国際免許証は持っていますが、お淨土までの車の免許証は持つておりません」の答えに対し、「そうか? と

するものですか?」「知らん。ご院家さんに聞けばわかるからその門徒推進員になれ」という経緯で急速ご住職に申込書と説明書をいただき、後日、中央教修へ。自覺のないまま10年。今日のお話のなかの「経教鏡

## 仏教婦人会連盟 初心者のための浄土真宗 (次世代育成研修会)

### 門徒推進員連絡協議会総会・研修会

神門組 乗光寺 田中なかた 中貴たかひ 和かず



# 全国寺族青年軟式野球大会に参加して

鳥取伯耆組 香寶寺 上 杉 信 成

9月4日(木)に、京都の山城総合運動公園太陽が丘球場にて、「第46回全国寺族青年軟式野球大会」が開催され、山陰教区寺族野球部も50代のベテランから学生の若手までが参加いたしました。

例年、9月末から10月頭の開催ですが、その時期は報恩講が始まる教区があり、1ヶ月早い開催で猛暑の

中、熱中症に気を付けながら体力勝負の大会となりました。

初戦は、宮崎教区・オーシャンズと対戦し、ベテランの奮起と若手の活躍で打線が爆発、10対5で勝利。数年ぶりの初戦突破となりました。

2回戦はベスト8をかけて、長野教区・長野サンガと対戦しました。長野サンガは、若手中心のチーム

で、初戦で優勝候補のチームを破るなど勢いがあり、その勢いに負けじと奮闘しましたが、2対10で完敗。ベスト8進出を逃しましたが、熱中症や怪我をすることもなく、最後まで楽しい野球をすることができました。

寺族野球は、ただ野球をするだけでなく、教区内のつながりを深める大切な場となっております。

数年前から、山陰教区出身の学生の参加があり、教区の次世代を担う若手と交流を深めました。私自身も、学生時代に寺族野球に声をかけていただき、教区内の方々

## 僧侶研修会

邑智西組 浄泉寺 朝枝三暁

9月5日(金) 出雲市民会館301

会議室に於いて、令和7年度山陰教区僧侶研修会が開催され、教区内各

地からスタッフ含め68名、オンライン9名の参加がありました。午前10時から開会式、引き続き研修会が3時半まで実施されました。講師は武田一真和上(安芸教区 龍仙寺)をお迎えし「浄土の真宗—法然聖人から親鸞聖人へ」と題して、法然聖

人から親鸞聖人へ継承されたご法義を「西方指南抄」をとおしてお話し

ただきました。和上は著書に「西方指南抄講讀」

親鸞聖人が仰いだ法然のことば」を出版されており、ご自身が研究されたことを懇切丁寧にお話くださいました。親鸞聖人に、法然聖人の教えへの深い敬愛と、その教えを未来に伝えたいという強い思いがあつたことを示され、また、この時期には念仏の解釈をめぐってさまざまな異義が生じていたこともあり、親鸞聖人が法然聖人の真意を伝えるためこの本を残されたことを強く感じたことでした。『西方指南抄』という書物は「浄土真宗聖典(注釈版)」には収

かもしませんが、現代語訳も出版されており、読ませていただきたいと感じました。

後半は勤式講習会があり、教区勤式指導員の小原 静伍 師から「正信偈」の行譜の指導がありました。

全日程を終えて改めて背筋の伸びる心持ちでした。それは、開会式の教務所長の挨拶にて、先般より行われている「得度考査」の話をされ「受講された大学生が一生懸命学習されている姿に、今自分は得度を受けた時のように学習に向かうことができているのだろうか、もしかしたら『得度考査』が始まつたのは私たちのせいでありましょか」とおっしゃつたことが胸に響いたからです。日々に追われ、今日できることも明日に延ばしている私であります。僧侶研

修会という学びの場を与えてくださったことに感謝申しあげます。

山陰教区寺族野球部は、教区内のつながりを大切に活動しておりますので、野球が苦手でも参加してみたい方、また、次世代の若手で紹介したい方がおられましたら、教務所の寺族野球部担当までご一報ください。

との関わりができました。そのおかげで大学を卒業して山陰に戻つたときに、すんなりと教区内の活動に参加することができました。

また、教区内の諸先輩方から多くのお育てをいただきました。私自身も、教区内の架け橋となり、若手育成の一助になればと思つております。



## 若寺族婦人研修会



期日 9月6日(土)  
会場 ラピタウエディングパレス  
(出雲市)  
参加者 58名

今年度の若寺族婦人研修会は、神門組寺族婦人会の皆さんに企画・準備いただき、58名に参加いただきました。ご講師に、前田純代師（安芸教区広陵西組善法寺坊守）をお迎えし、「あなたは何色の花ですか？」と題しお話いただきました。

ご講師の前田師は、『中国新聞』や本願寺出版社発行の『大乗』など多くの誌面で文章を書いておられます。結婚を機に僧侶になられ、現在は坊守として多方においてご活躍されておられます。

ご自身の経験のなかで苦労したこと、ありがたかったことなどをお話し、参加者からは、「共感できた」「講師と同じ悩みを持っていたことがわかり、気が楽になった」などの感想をいただきました。

特に、「坊守という言葉には特定の役割があるのではない、気負わずあなた自身がそのままできることをやればいい」とのお言葉には、日々、坊守としてどのように活動していけばよいのかと悩みを持っている多くの参加者にとって、今後の方向性を見出すことができたのではないかと感じました。

特に、「坊守という言葉には特定の役割があるのではない、気負わずあなた自身がそのままできることをやればいい」とのお言葉には、日々、坊守としてどのように活動していくべきかと悩みを持っている多くの参加者にとって、今後の方向性を見出すことができたのではないかと感じました。

2日目には伯水永雄師から「過去帳又はこれに類する帳簿の取り扱い基準」について、また義本弘導師から「布教使の作法・心構えについて」ご講義いただきました。義本師は布教使養成の伝道院で指導をされていたご経験があります。ご本人も



10月1日・2日に愛媛県のホテルマイステイズ松山を会場として第4連区青年布教使研修会が開催され、私も参加させていただきました。例年、第4連区青年布教使研修会では初日に布教実演があり、翌日には研修会が開かれます。布教実演では毎年各教区の青年布教使の方々がご法話をされ、今年山陰教区からは大田東組の西原由規師がご出講されました。トップバッターの大役を務められ、仏縁にでえたことをよろこばせていただきました。また夜には懇親会が開かれ、他教区の方々と語り合いながら交流をし、仲を深めることができたこともまたうれしいことでありました。

## 第4連区青年布教使研修会

鹿足組 誓立寺 朋とも 澤さわ 融ゆう 智ち

(旧Twitter)、Instagram、  
LINEを活用すると、スマート  
フォンのカメラ機能でオンライン法事  
事が手軽にできます。また、公式LINE  
でご門徒とつながると、連絡  
内容が文字で残るため日時の確認ミス  
を防げるうえ、若い家族層とのつな  
がりや次世代への橋渡しにも期待  
できます。公式LINEは無料プランも  
利用可能とのこと。さらに、X

菅原師からは、インターネットが  
お寺にもたらす情報発信力や親しみ  
やすさの向上について、解説いただきました。

坂彰英師（鳥取伯耆組妙寂寺）と、  
副担当長の菅原大空師（大田西組  
西楽寺）のお二人が講師を務められ、  
オンライン法事の導入事例とインターネ  
ット活用の可能性についてお話し  
いただきました。

実践運動オンライン担当担当長の兜  
坂彰英師（鳥取伯耆組妙寂寺）と、  
副担当長の菅原大空師（大田西組  
西楽寺）のお二人が講師を務められ、  
オンライン法事の導入事例とインターネ  
ット活用の可能性についてお話し  
いただきました。

YouTubeなどは、情報発信に有効です。  
兜坂師からは、バリアフリー化の手段としてのオンライン法事について、解説いたしました。

ご自坊において、さまざま  
な制約で参拝できない人のために、オンライン化を進めておられます。本堂では機器を有線でつなぎ、安定した通信と映像を確保。複数のコンパクトデジタルカメラとスイッチャーを設置し、ご自身で映像操作できるよう工夫されていました。

お二人からは、インターネットが  
広報活動において非常に重要であり、ウェブサイトの存在も重要であると指摘されました。



「一つ」として利用し、従来通りの広報手段や対面でのお参りも維持する配慮が必要であると締めくくられました。

参加人数は8名。参加者からは、「今回の研修で必要な機器や設置例が具体的に理解できた」などの声が寄せられました。

## オンライン法事研修会

### オフィスの身近な応援団！

For the best service company.

**MIC** 株式会社ミック

本社 〒690-0826 松江市学園南2-10-14 タイムプラザビル1F  
TEL 0852-27-0329 FAX 0852-27-0376  
支店 / 出雲・雲南・大田・浜田・益田・山口

<https://www.mic-ltd.co.jp>

印刷と出版でできること。  
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして  
様々なソリューションを提供する。

人と向き合い、地域と向き合い一緒になってつくること。  
それが私たちにできる、地域貢献のカタチだと考えています。

お客様の良き相談相手になることを目指します  
**株式会社谷口印刷**  
HARVEST ハーベスト出版



寺族婦人会連盟・仏教婦人会連盟

合同研修会

にて開催いたしました。

期日 10月8日(水)  
会場 ビッグハート出雲  
参加者 184名

10月8日、出雲市のビッグハート  
出雲白のホールを会場に、寺族婦人  
会連盟の「寺族婦人研修会」と仏教  
婦人会連盟の「実践運動（御同朋の  
社会をめざす運動）研修会」を合同

より多くの方にご参加いただきた  
いとの思いから、このたびは寺族婦  
人会連盟・仏教婦人会連盟合同での  
研修会といたしました。

研修会は、戦後80年という節目の年でありますので、日本で唯一の地上戦が行われた沖縄での悲惨な戦闘について、これまであまり知られ

かいかに悲惨なものであつたのか  
当時の日本の教育はどのようなもの  
であつたのか知ることができた研修  
会となりました。

DVDをお貸しすることもできま  
すので、各組の研修会やお寺で上映  
したいというお声がありましたら、  
教務所までお尋ねください。

## 仏前結婚式

10月11日（土）、山陰教堂の本堂において、仏前結婚式が執り行われました。

て挙式されました。 晨利信 主管が司婚を務め、両家のご家族・ご親族の列席のもと、新郎新婦が山陰教堂の仏前にて夫婦としての誓いを立てられました。



この度は、誠におめでとうございます。

あります。 気軽にお問い合わせください。

新郎新婦からは、「本堂の莊厳な雰囲気が良かつた。司婚者の法話に心を打たれました。」とのコメントをいただきました。

とても和やかで心温まる結婚式でした。山陰教堂では、仏前相談・受け付けをして

ていなかつた当時の状況が克明に描かれた映画「ドキュメンタリー沖縄戦／知られざる悲しみの記憶」を上映いたしました。

ここ数年、電子書籍が普及し、紙の本を読むことが少なくなりました。以前は紙をめくる感覺や棚にずらつと並んでいるのを眺めることが好きでしたが、性格上なかなか手放すこともできず、増えるばかりで保管場所や引っ越しの際は困っていました。

ただ、何年も続いていた雑誌が休刊になるなど、出版業界の残念なニュースを目にすると悲しくも思います。とはいっても、電子書籍は出版にかかるコストが低いため、電子でのみ販売をしている場合もあり、紙では出合うことのできない作品があるのも魅力です。またSNSなどで無料で公開している場合もあり、人気となれば書籍販売がされ、続編や書きおろしが読めるというのも作品を応援したくなる、新しい楽しみ方かなと思います。

電子書籍と紙の本、それぞれにメリット・デメリットがあり、どちらだけが良いということもありません。自分に合った本の持ち方が選べるようになつたのだなと思います。私は今後も本は電子書籍と紙の両方で楽しみたいと思います。(F・M)

10月14日（火）、山陰教堂教化センター研修室において、藤丸智雄師（丘庫教区岡山南組 源照寺）を迎えて「連研のための研究会」が行われました。

10時から16時近くまで、昼食を挟んで「教区の現状と問題点」「組の現状と問題点」「門徒推進員の活動状況」について担当者による発表の後、テーマ「連研ノートE【改訂版】問題【お浄土とは何ですか】」サブテーマ「お浄土は私の今の生活とどのような関係があるのですか。」を故内藤知康和上の本の内容を用いて藤丸師に問題提起していただき、さらに①「死者を再生（VR）できるとしたら」、②「皆さんにとっての情的アプローチ」というサブテーマをいただき午前中は終わりました。昼食後は参加者25名を3班に分けて分科会が行われました。テーマ、サブテーマをもとに約60分間の話し合いの中で、死者の再生（VR）から始まり、自分たちの情的アプローチについてたくさん意見が述べられました。

私も死者が再生（VR）できるとしたら、再び会える喜び嬉しさが頭

の中に出てきました。しかし、亡くなつた人たちを全て再生したいと思つてゐるかは個人個人違うのではあります。

10月14日（火）、山陰教堂教化センター研修室において、藤丸智雄師（丘庫教区岡山南組 源照寺）を迎えて「連研のための研究会」が行われました。

10時から16時近くまで、昼食を挟んで「教区の現状と問題点」「組の現状と問題点」「門徒推進員の活動状況」について担当者による発表の後、テーマ「連研ノートE【改訂版】問題【お浄土とは何ですか】」サブテーマ「お浄土は私の今の生活とどのような関係があるのですか。」を故内藤知康和上の本の内容を用いて藤丸師に問題提起していただき、さらに①「死者を再生（VR）できるとしたら」、②「皆さんにとっての情的アプローチ」というサブテーマをいただき午前中は終わりました。昼食後は参加者25名を3班に分けて分科会が行われました。テーマ、サブテーマをもとに約60分間の話し合いの中で、死者の再生（VR）から始まり、自分たちの情的アプローチについてたくさん意見が述べられました。

私も死者が再生（VR）できるとしたら、再び会える喜び嬉しさが頭



ました。

皆さま、ようこそお参りください

ました。

ないと痛感しました。

僧侶になつて9年目、住職として7年目の私ですが、この研修会をおして多くの先輩方の意見を聞くことで自分の勉強不足を実感しました。

これからも多くの人とともに歩む存在として精進しなければならないと思いました。

この研修会を通じて、自分にとつて実りあるご縁をいただきました。

ありがとうございます。

10月21日（火）、本願寺山陰教堂の報恩講をお勤めいたしました。

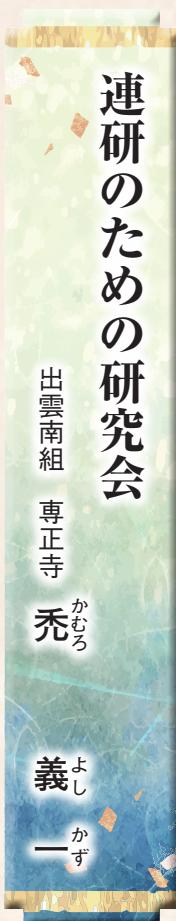
午前の法要は「新制御本典作法」、午後の法要は「正信念仏偈作法（第2種）」。結衆として出雲南組と益田組のご法中に、奏樂員として雅龍会の皆さまにご出勤いただきました。

また、オンライン担当の皆さまにご協力いただき、法要の様子をインターネットでライブ配信しました。

ご講師は、本願寺派布教師那須英信師（備後教区沼隈南組善正寺住職）。ご参拝の皆さまと一緒にお聴聞させていただきました。

皆さま、ようこそお参りくださいました。

**2025(令和7)年  
本願寺山陰教堂報恩講**



ドレミファ組

## 千須賀組 実践運動の取り組み

千須賀組 永照寺 吉川 恭

千須賀組における実践運動の歩みは、活発とは言い難い。その現状報告です。

組連研を休止してから停滞、僧侶同朋研修、仏婦並びに総代研修を継続しているのみです。

組内15ヶ寺中、寺族不在や地元不居住寺院が3分の1に。僧侶とともに実践運動を推進してきた仏教婦人会、その実質活動組織率は8割弱から2割になりました。

特に、重点プロジェクトの中心となる「子どもたちを育むために」の取り組みとほとけの子の育成を、今まで仏婦に頼つてきましたから、今後は別の方法、アプローチが必要と考えています。

1ヶ寺でも活動できる寺院に助成しながら広い範囲への呼びかけ、そして学びの一歩として「子どもの権利条約」の基本的な考え方についています。

僧侶同朋研修においては、講師を招いての研修だけでなく、実際に現

種々の義務をはたしているにもかかわらず、その子どもたちの教育には、国及び地方自治体によって排除、停止と相応の対処がなされていない現状である。

行政へ何度も見学を要請しても、それすら拒否して対応してもらえないとのことでした。

今年度は「障がい者差別の現状について」の研修を予定しています。

報道では、文部科学省の学校基本調査で大学進学率などに使用される18歳人口の集計から、障がいのある児童、生徒が通う特別支援学校の卒業者が除外されているとあります。見学もなされていないともありました。

また昨年度は、朝鮮学校での授業見学を2時限行い、校長先生から1時間お話を聞かせて頂きました。現在朝鮮学校を取り巻く社会的環境はヘイトスピーチや「高校無償化」制度からの排除、補助金支給の停止と非常に厳しさが増している状況です。

朝鮮学校での授業はハングル(高ラムに、プラス民族教育がされていました。しかしながら、法的地位は「各種学校」としての位置づけです。

在日朝鮮・韓国人は地域住民としての一般住民同様、納稅義務など



## 「平和の鐘」

立教開宗800年  
親鸞聖人御誕生850年  
慶讚法要記念  
川勝オリジナル  
(経本入・式章袋・念珠袋)

9月18日(木)、第45回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において修行されました。宗門では恒久平和の願いを新たにするため、毎年、この法要にあわせて「平和の鐘」を撞いています。当日は、山陰教区内寺院82ヶ寺でも梵鐘や喚鐘が撞かれ、共に平和への誓いを新たにしました。

**御本山用達**  
**川勝法衣店**  
〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入

0120-075-055  
TEL.075-371-0367(代)  
FAX.075-371-5088







去る、10月12日（日）に「神門組仏教壯年会連盟結成40周年記念大会」を出雲市のラピタウエディングパレスにて、168名の参加のもと執り行いました。

記念式典は、厳かな雰囲気の中、正蓮寺・日溪浩道住職の勲行「讃仏偈」、続いて「仏教壯年会連盟綱領」の唱和が行われ幕が開きました。

冒頭、須山宏幸実行委員長の挨拶では、結成から40年間支えてくださった諸先輩方への感謝、今後の活動への抱負、本大会が開催

ディーニングパレスにて、168名の参加のもと執り行いました。

去る、10月12日（日）に「神門組」仏教壮年会連盟結成40周年記

が述べられました。

また、来賓としてお招きしました、  
た、晨利信 教務所長、鈴木二朗  
組長から祝辞を頂戴し、式典に華  
を添えていただきました。

その後歴代理事長の本田和政様、井上静夫様、天野明浩様、

伊藤貴博様へ今日までの功績に敬意を表し、感謝状の贈呈を行いました。

記念講演では、宗派仏教壮年会連盟・種村 美樹 理事長（東海教区員弁組源光寺門徒）から、「仏壯の意義とこれからの方針性や取り組み」の演題のもと、ご講演い

教区にかかる一人ひとりのことを考えながら仕事に向き合う先輩職員の姿に接して、まさに「水管」や「木の根」のように、見えないところで運営を支えてくださっている教務所であるということを学びました。

今後は異なる立場で、微力ながらも教区を支えて参りたいと思います。

大変お世話になりました。合掌

退職のごあいさつ

松江組 眞光寺 吉田剛

臨時職員としての契約が満了し、  
11月に退職させていただくことと  
なりました。

たり、各寺院から実行委員として会員並びにご住職にお出かけいただき、計5回の実行委員会を重ね、無事開催することができました。あらためて、感謝申しあげます。

の広がりが、予想以上に明確に見えてきました。また、報恩講が最も多い日は11月3日、次いで11月1日であることなど、改めて知ることも多くありました。

ただ、すべてを通知設定にして  
いたため、携帯が毎日のように知  
らせてくる結果となりました。  
入力自体は良いのですが、そこま  
で通知させる必要はなかつたよう  
です。

編集後記